

小田原市
介護予防把握事業
調査結果報告書

令和 6 年 2 月

小 田 原 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 調査結果の表示方法	1
6 調査の回収数・回収率	2
7 判定の条件	3
8 用語の定義	5
第2章 調査結果等からみた本市の高齢者像.....	6
1 調査結果の分析について	6
2 高齢者人口・調査対象者の状況	7
3 回答者の属性	9
4 一般高齢者・リスク該当者の状況	12
(1) 一般高齢者とリスク該当者	12
(2) リスク該当者と7種類リスクの出現率	16
5 調査結果の総括	22
(1) 調査結果の総括の視点	22
(2) リスク該当者の総括	22
(3) フレイル予防における栄養リスクの総括	23
(4) フレイル予防における身体活動（運動）の総括	23
(5) フレイル予防における社会参加の総括	23
6 基本チェックリスト（25項目）の回答結果.....	24

第3章 日常生活圏域ごとの分析結果.....	40
1 日常生活圏域ごとのリスク別出現率	40
2 日常生活圏域ごとの課題	45
(1) 第1圏域（しろやま）	45
(2) 第2圏域（はくおう）	48
(3) 第3圏域（じょうなん）	51
(4) 第4圏域（はくさん）	54
(5) 第5圏域（ひがしとみず）	57
(6) 第6圏域（とみず）	60
(7) 第7圏域（さくらい）	63
(8) 第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）	66
(9) 第9圏域（しもふなか）	69
(10) 第10圏域（とよかわ・かみふなか）	72
(11) 第11圏域（そが・しもそが・こうづ）	75
(12) 第12圏域（たちばな）	78
第4章 独自設問の分析結果.....	81
1 あなたのご家族や生活状況について	81
2 運動・閉じこもりについて	86
3 転倒について	88
4 物忘れについて	91
5 毎日の生活について	94
6 地域での活動について	111
7 健康について	126
8 小田原市で実践していることについて	128
第5章 前回の調査結果との比較.....	134
1 総括	134
2 日常生活圏域ごとの比較	138
(1) 第1圏域（しろやま）	140
(2) 第2圏域（はくおう）	142
(3) 第3圏域（じょうなん）	144
(4) 第4圏域（はくさん）	146
(5) 第5圏域（ひがしとみず）	148
(6) 第6圏域（とみず）	150
(7) 第7圏域（さくらい）	152
(8) 第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）	154

(9) 第9圏域（しもふなか）	156
(10) 第10 圏域（とよかわ・かみふなか）	158
(11) 第11 圏域（そが・しもそが・こうづ）	160
(12) 第12 圏域（たちばな）	162
資料編	164
1 アンケート調査票	164
2 個人アドバイス票	172

第1章 調査の概要

1 調査の目的

本事業は、介護予防・日常生活支援総合事業を推進するため、本市の要支援・要介護認定者を除く70歳及び昨年度の調査で未回答の71～74歳の方を対象に、「個別の生活実態」を調査しました。その調査結果から現状の「日常生活圏域別の高齢者の生活実態」及び「市全体における高齢者の生活実態」の把握及び課題、地域特性の抽出を行い、今後の一般介護予防事業等の展開について検討、評価していくとともに、抽出された地域課題、地域特性を明確化することで、地域包括ケアシステムの構築を推進していく上での基礎資料とすることを目的としています。

調査結果については電子データ化し、日常生活圏域における地域活動の基礎資料とするほか、生活機能が低下傾向にある高齢者について、個別の課題に応じた適切な支援・サービスに繋げるために活用します。

2 調査対象

市内在住で令和5年度中に70歳に到達する者（昭和28年4月2日～昭和29年4月1日生）

市内在住で令和4年度の調査票が未回収であり令和5年度中に71歳から74歳に到達する者（昭和24年4月2日～昭和28年4月1日生）

以上、4,111名

3 調査期間

令和5年7月31日～令和5年8月18日

4 調査方法

郵送による配布・回収

5 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

6 調査の回収数・回収率

調査の回収数・回収率は、以下のとおりです。有効回収数は、1,612件、有効回収率は、39.2%となっています。

70歳の有効回収率は、57.1%で、71～74歳の有効回収率は、18.3%となっています。

日常生活圏域別にみると、「第8圏域(さかわ こやわた・ふじみ)」が43.3%、「第7圏域(さくらい)」が42.4%と高くなっています。

日常生活圏域	全体			70歳			71～74歳		
	配布数	有効回収数	有効回収率	配布数	有効回収数	有効回収率	配布数	有効回収数	有効回収率
市全体	4,111	1,612	39.2%	2,217	1,266	57.1%	1,894	346	18.3%
第1圏域(しろやま)	379	131	34.6%	199	102	51.3%	180	29	16.1%
第2圏域(はくおう)	352	136	38.6%	180	98	54.4%	172	38	22.1%
第3圏域(じょうなん)	315	110	34.9%	180	89	49.4%	135	21	15.6%
第4圏域(はくさん)	370	154	41.6%	191	125	65.4%	179	29	16.2%
第5圏域(ひがしとみず)	238	79	33.2%	121	62	51.2%	117	17	14.5%
第6圏域(とみず)	299	110	36.8%	146	87	59.6%	153	23	15.0%
第7圏域(さくらい)	257	109	42.4%	153	90	58.8%	104	19	18.3%
第8圏域(さかわ こやわた・ふじみ)	434	188	43.3%	245	146	59.6%	189	42	22.2%
第9圏域(しもふなか)	329	131	39.8%	195	107	54.9%	134	24	17.9%
第10圏域(とよかわ・ かみふなか)	441	180	40.8%	232	140	60.3%	209	40	19.1%
第11圏域(そが・ しもそが・こうづ)	401	159	39.7%	221	126	57.0%	180	33	18.3%
第12圏域(たちばな)	296	125	42.2%	154	94	61.0%	142	31	21.8%

日常生活圏域	地域包括支援センター名	自治会連合会名
第1圏域	しろやま	緑、万年、幸、芦子
第2圏域	はくおう	新玉、山王網一色、足柄
第3圏域	じょうなん	十字、片浦、早川、大窪
第4圏域	はくさん	二川、久野
第5圏域	ひがしとみず	東富水
第6圏域	とみず	富水
第7圏域	さくらい	桜井
第8圏域	さかわ こやわた・ふじみ	酒匂・小八幡、富士見
第9圏域	しもふなか	下府中
第10圏域	とよかわ・かみふなか	豊川、上府中
第11圏域	そが・しもそが・こうづ	曾我、下曾我、国府津
第12圏域	たちばな	前羽、橘北

7 判定の条件

基本チェックリスト（25 項目）の回答結果について、リスク判定を行いました。

■判定の設定条件

項目	リスク判定	判定条件
暮らしリスク	注意	10点以上
	普通	3点～9点
	良好	0～2点
	判定不可	判定設問に未回答が10問以上ある
運動リスク	注意	3点以上
	普通	1点～2点
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が3問以上ある
栄養リスク	注意	2点以上
	普通	1点
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が1問以上ある・4-2が未回答
口腔リスク	注意	2点以上
	普通	1点
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が2問以上ある
外出リスク	注意	2-4が該当
	普通	2-6が該当。2-4は非該当
	良好	2-4・2-6非該当
	判定不可	2-4が未回答
もの忘れリスク	注意	1点以上
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が1問以上ある
こころリスク	注意	2点以上
	普通	1点
	良好	0点
	判定不可	判定設問に未回答が2問以上ある

■暮らしリスク

問番号	設問内容	点数	回答
6-1	バスや電車で1人で外出していますか	1	できない
6-2	日用品の買物をしていますか	1	できない
6-5	預貯金の出し入れをしていますか	1	できない
6-11	友人の家を訪ねていますか	1	いいえ
6-12	家族や友人の相談にのっていますか	1	いいえ
2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	できない
2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	できない
2-3	15分位続けて歩いていますか	1	できない
3-1	この1年間に転んだことがありますか	1	何度もある
3-2	転倒に対する不安は大きいですか	1	とても不安である
4-1	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1	はい
4-2	身長、体重(数字を記入) 身長、体重から算出したBMIが18.5未満 ※ BMI = 体重(kg) / (身長(m) × 身長(m))	1	はい
4-3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	はい
4-4	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	はい
4-5	口の渇きが気になりますか	1	はい
2-4	週に1回以上は外出していますか	1	ほとんど外出しない
2-6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	とても減っている減っている
5-1	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか	1	はい
5-2	自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか	1	いいえ
5-3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	はい

■運動リスク

問番号	設問内容	点数	回答
2-1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	できない
2-2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	できない
2-3	15分位続けて歩いていますか	1	できない
3-1	この1年間に転んだことがありますか	1	何度もある
3-2	転倒に対する不安は大きいですか	1	とても不安である

■栄養リスク

問番号	設問内容	点数	回答
4-1	6カ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1	はい
4-2	身長・体重(数字を記入) 身長、体重から算出したBMIが18.5未満 ※ BMI = 体重(kg) / (身長(m) × 身長(m))	1	はい

■口腔リスク

問番号	設問内容	点数	回答
4-3	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	はい
4-4	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	はい
4-5	口の渇きが気になりますか	1	はい

■外出リスク

問番号	設問内容	点数	回答
2-4	週に1回以上は外出していますか	1	ほとんど外出しない
2-6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	とても減っている減っている

■物忘れリスク

問番号	設問内容	点数	回答
5-1	周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか	1	はい
5-2	自分で電話番号を調べて電話をかけることをしていますか	1	いいえ
5-3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	はい

■こころリスク

問番号	設問内容	点数	回答
8-1	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1	はい
8-2	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1	はい
8-3	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる	1	はい
8-4	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1	はい
8-5	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1	はい

8 用語の定義

報告書に用いられる用語は、以下のとおりです。

用語	解説
一般高齢者	日々の生活において元気に暮らしている方。
リスク	この報告書においては「危険性」を意味し、実際にそれが起こって危険となる可能性を表した言葉です。例えば「暮らしリスク」は、高齢者が生活機能低下に陥る危険性のことを指しています。
リスク別出現率	調査の有効回収数(回答数)のうち、各リスク該当者の占める割合を表しています。 $\text{リスク別出現率} = \text{リスク該当者数} \div \text{有効回収数}$
基本チェックリストリスク該当者	本調査における調査票内の基本チェックリスト該当項目において、「暮らし」「運動」「栄養」「口腔」「外出」「物忘れ」「こころ」の7項目別の判定条件によって「注意」と判定されたもので、1項目以上に該当した方。 ※以下、基本チェックリストリスク該当者を「リスク該当者」と表記します。
リスク該当者出現率	調査の有効回収数(回答数)のうち、リスク該当者の割合を表しています。 $\text{リスク該当者出現率} = \text{リスク該当者数} \div \text{有効回収数}$ ※回答者の中に未回答項目がある場合、各リスク該当者数の合計が回答者数の合計を下回ることがあります。

第2章 調査結果等からみた本市の高齢者像

1 調査結果の分析について

調査結果の分析にあたっては、以下の分析を行い本市の介護予防事業のあり方や事業効果等について検証しました。なお、本調査結果は、要介護認定を受けていない 70 歳と昨年度調査において未回答であった 71～74 歳（令和5年4月1日時点）の高齢者像となります。

■分析1 一般高齢者とリスク該当者の割合

市全域と日常生活圏域別に高齢者像を把握するために、一般高齢者、リスク該当者の構成割合を分析しました。

■分析2 リスク該当者の出現率

リスク該当者の出現率を把握するために、リスク該当者をリスク別、年齢階級別、家族構成別、BMI 別に分析しました。

■分析3 基本チェックリストの回答結果

基本チェックリスト（25 設問）の設問において、リスク側に回答した方の回答結果を分析しました。

■分析4 7種類のリスクの他リスクとの関連

7種類のリスク該当者ごとに他の6リスク該当者との重複状況を集計し、リスクの重要度の分析をしました。

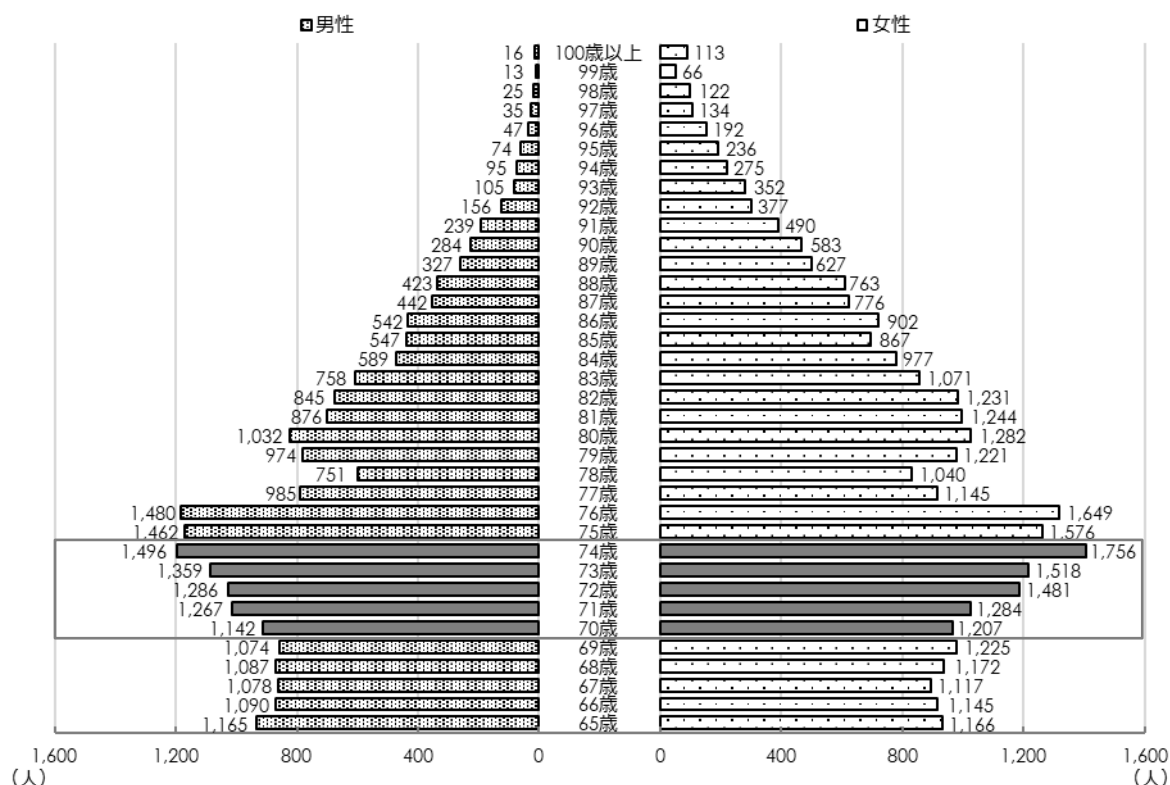
2 高齢者人口・調査対象者の状況

本市全体の高齢者像をみるために、高齢者人口（令和5年12月31日現在）と調査対象者の状況をみました。

本市の高齢者人口を1歳階級別にみると、男女ともに74歳の人口が最も多くなっています。70～74歳をみると、男女ともに70歳の人口が少なくなっています。

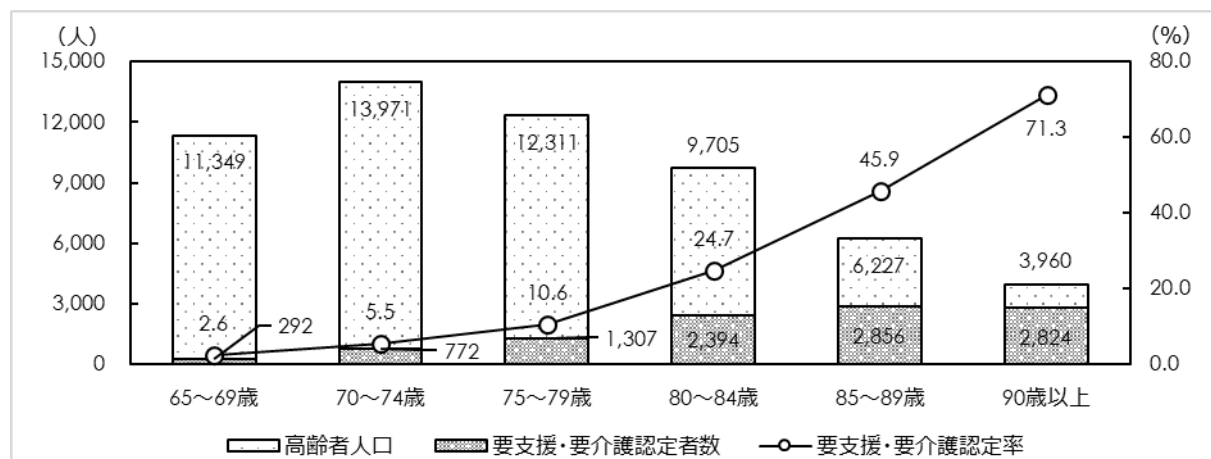
5歳階級別の要支援・要介護認定率をみると、年齢階級が上がるほど高くなり、85～89歳で45%を超え、90歳以上では70%を超えています。

人口ピラミッド



小田原市健康づくり課調べ（令和5年12月31日現在）

要支援・要介護認定者数の比較



小田原市高齢介護課調べ（令和5年9月末時点）

回答者の人口構成（性別・年齢階級別・日常生活圏域別）

上段：人 下段：%

日常生活圏域	全 体			70 歳			71～74 歳			平均 年齢
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
市全体	781	831	1,612	603	663	1,266	178	168	346	70.3 歳
	48.4	51.6	100.0	47.6	52.4	100.0	51.4	48.6	100.0	
第1圏域 (しろやま)	64	67	131	53	49	102	11	18	29	70.3 歳
	48.9	51.1	100.0	52.0	48.0	100.0	37.9	62.1	100.0	
第2圏域 (はくおう)	71	65	136	47	51	98	24	14	38	70.4 歳
	52.2	47.8	100.0	48.0	52.0	100.0	63.2	36.8	100.0	
第3圏域 (じょうなん)	55	55	110	45	44	89	10	11	21	70.2 歳
	50.0	50.0	100.0	50.6	49.4	100.0	47.6	52.4	100.0	
第4圏域 (はくさん)	82	72	154	65	60	125	17	12	29	70.3 歳
	53.2	46.8	100.0	52.0	48.0	100.0	58.6	41.4	100.0	
第5圏域 (ひがしとみず)	37	42	79	29	33	62	8	9	17	70.3 歳
	46.8	53.2	100.0	46.8	53.2	100.0	47.1	52.9	100.0	
第6圏域 (とみず)	52	58	110	39	48	87	13	10	23	70.3 歳
	47.3	52.7	100.0	44.8	55.2	100.0	56.5	43.5	100.0	
第7圏域 (さくらい)	51	58	109	40	50	90	11	8	19	70.3 歳
	46.8	53.2	100.0	44.4	55.6	100.0	57.9	42.1	100.0	
第8圏域 (さかわ こやわた・ふじみ)	90	98	188	71	75	146	19	23	42	70.3 歳
	47.9	52.1	100.0	48.6	51.4	100.0	45.2	54.8	100.0	
第9圏域 (しもふなか)	66	65	131	53	54	107	13	11	24	70.2 歳
	50.4	49.6	100.0	49.5	50.5	100.0	54.2	45.8	100.0	
第10圏域 (とよかわ・ かみふなか)	80	100	180	60	80	140	20	20	40	70.3 歳
	44.4	55.6	100.0	42.9	57.1	100.0	50.0	50.0	100.0	
第11圏域 (そが・しもそが ・こうづ)	68	91	159	56	70	126	12	21	33	70.3 歳
	45.6	54.4	100.0	44.4	55.6	100.0	36.4	63.6	100.0	
第12圏域 (たちばな)	65	60	125	45	49	94	20	11	31	70.4 歳
	52.0	48.0	100.0	47.9	52.1	100.0	64.5	35.5	100.0	

3 回答者の属性

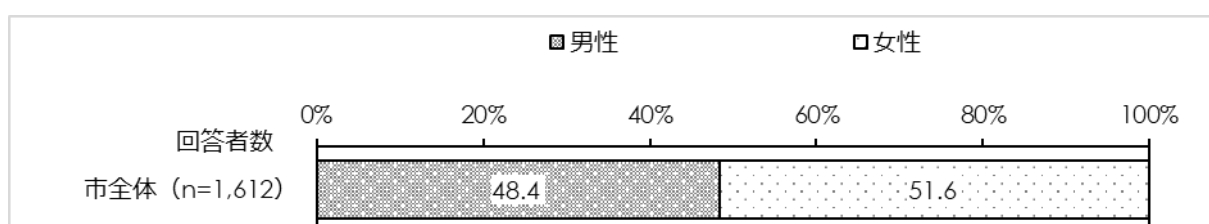
回答者数は市全体で1,612人でした。男性が48.4%、女性が51.6%となっています。

年齢階級別の回答者数は、「70歳」が78.5%（1,266人）、「71～74歳」が21.5%（346人）となっています。

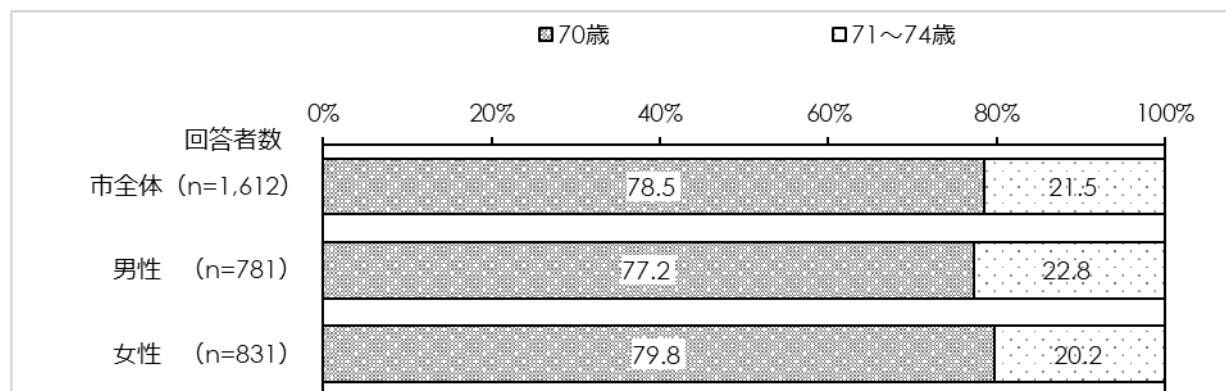
日常生活圏域別にみると、「第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）」が11.7%、「第10圏域（とよかわ・かみふなか）」が11.2%と高くなっています。

BMIをみると、市全体で「やせ」が6.8%、「肥満」が24.6%となっています。

回答者の性別



回答者の年齢階級（性別）

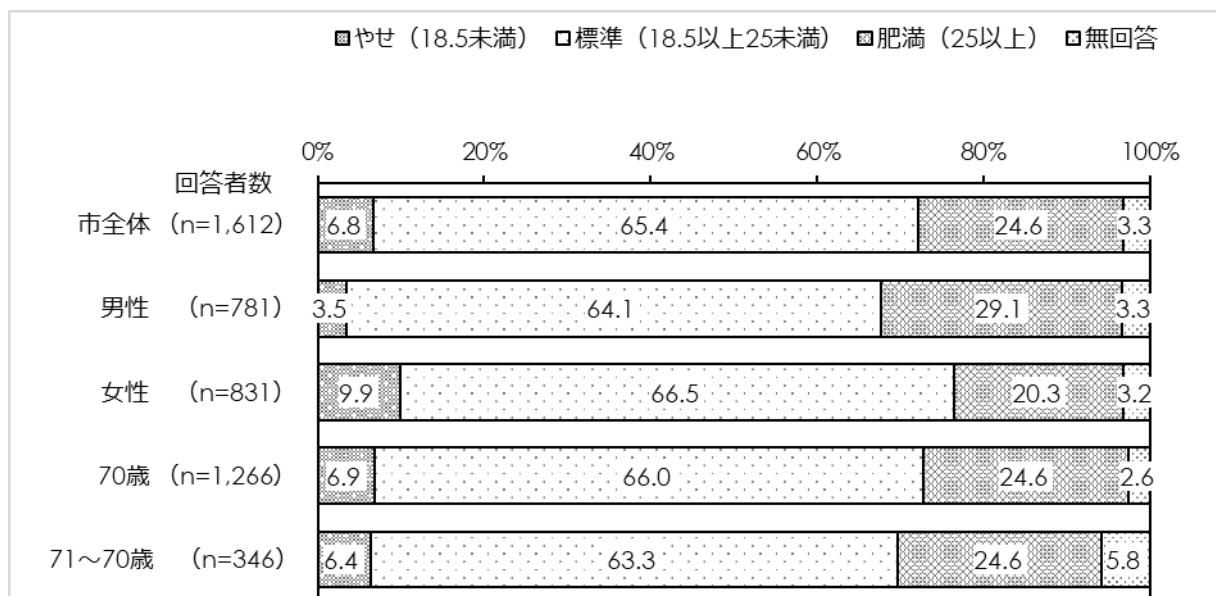


回答者の日常生活圏域

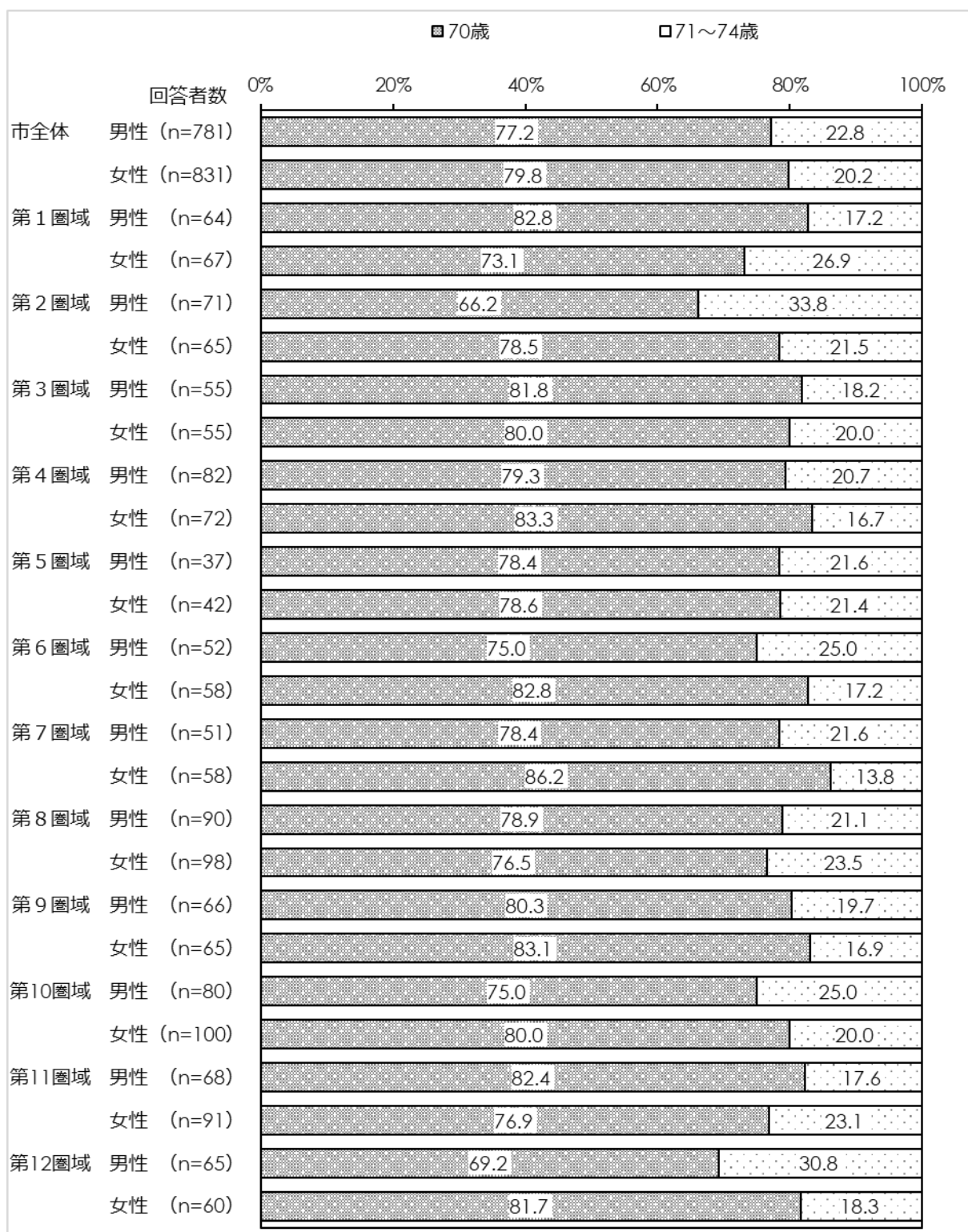
単位：％

区分	第1圏域 (しろやま)	第2圏域 (はくおう)	第3圏域 (じょうなん)	第4圏域 (はくさん)	第5圏域 (ひがしとみず)	第6圏域 (とみず)	第7圏域 (さくうい)	第8圏域 (さかわ こやわた・ふじみ)	第9圏域 (しもふなか)	第10圏域 (とよかわ・かみふなか)	第11圏域 (そが・しもそが・こうづ)	第12圏域 (たちばな)
	8.1	8.4	6.8	9.6	4.9	6.8	6.8	11.7	8.1	11.2	9.9	7.8

回答者のBMI（性別・年齢階級別）



回答者の年齢階級（性別・日常生活圏域別）



4 一般高齢者・リスク該当者の状況

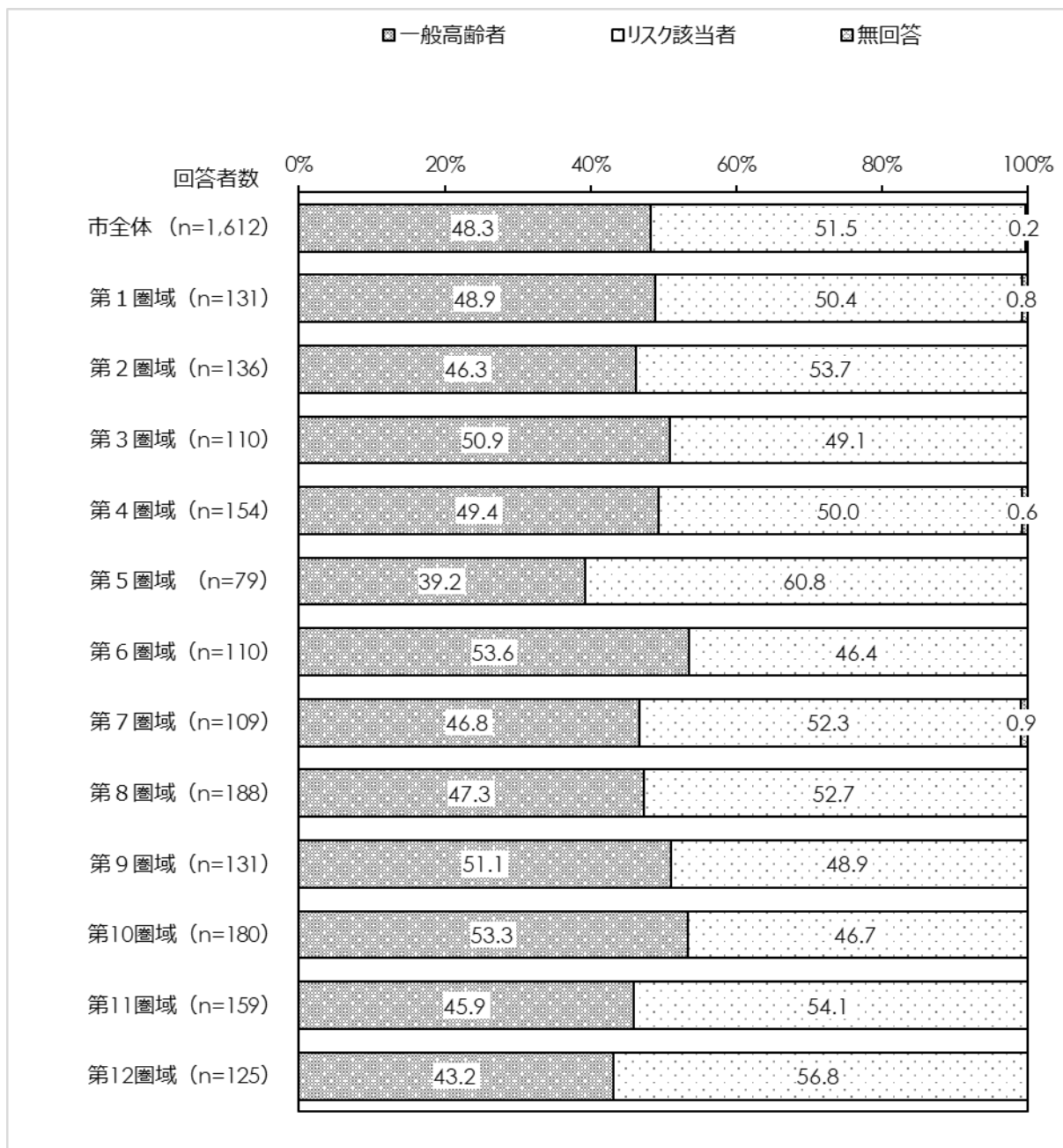
(1) 一般高齢者とリスク該当者

一般高齢者数とリスク該当者の比率は、市全体では、一般高齢者が48.3%、リスク該当者が51.5%となっています。

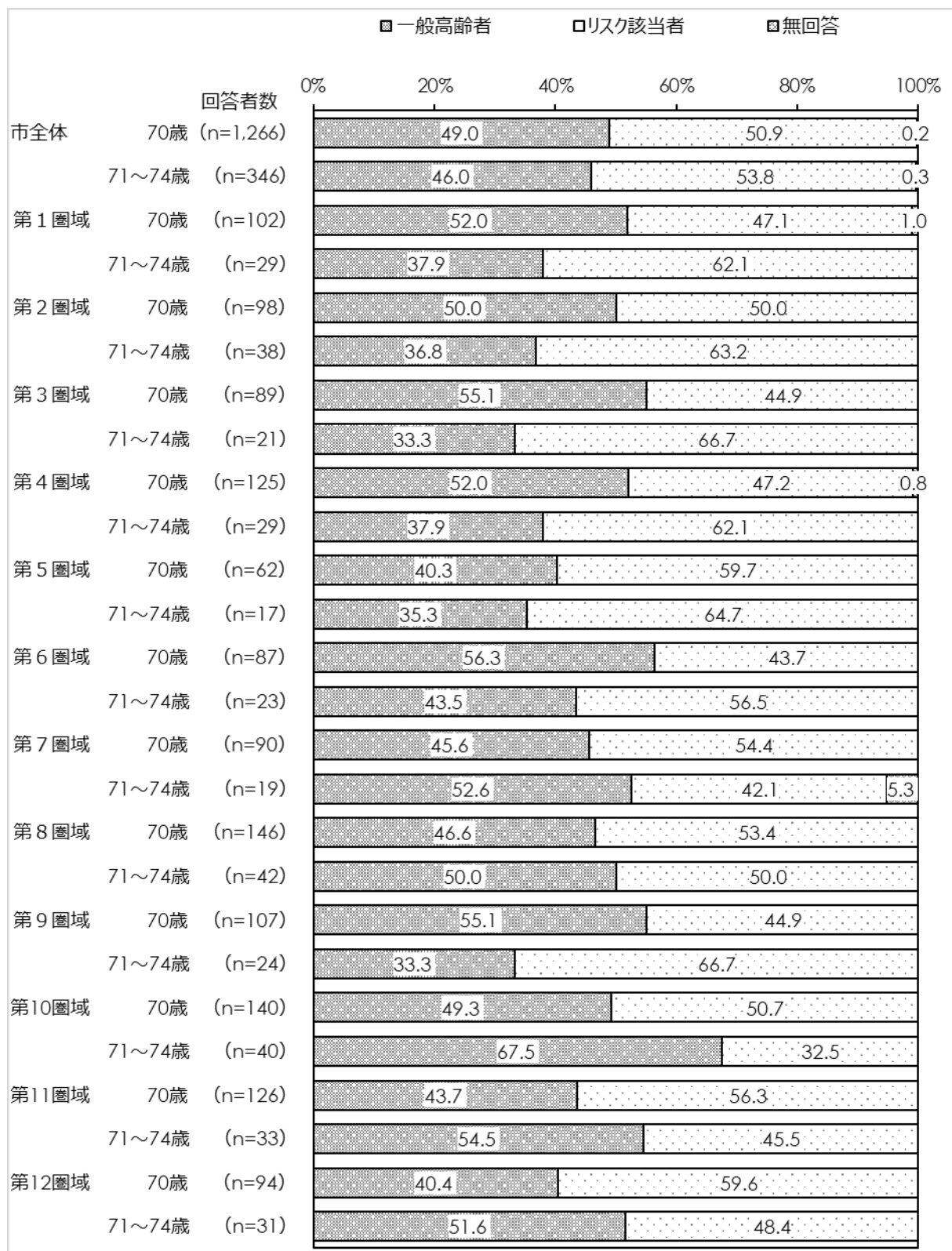
日常生活圏域別にみると、リスク該当者の比率は、「第5圏域（ひがしとみず）」が60.8%、「第12圏域（たちばな）」が56.8%と高くなっています。

年齢階級別・日常生活圏域別にみると、70歳では「第5圏域（ひがしとみず）」（59.7%）が、71～74歳では「第3圏域（じょうなん）・第9圏域（しもふなか）」（66.7%）が最も高くなっています。

一般高齢者とリスク該当者の比率（日常生活圏域別）



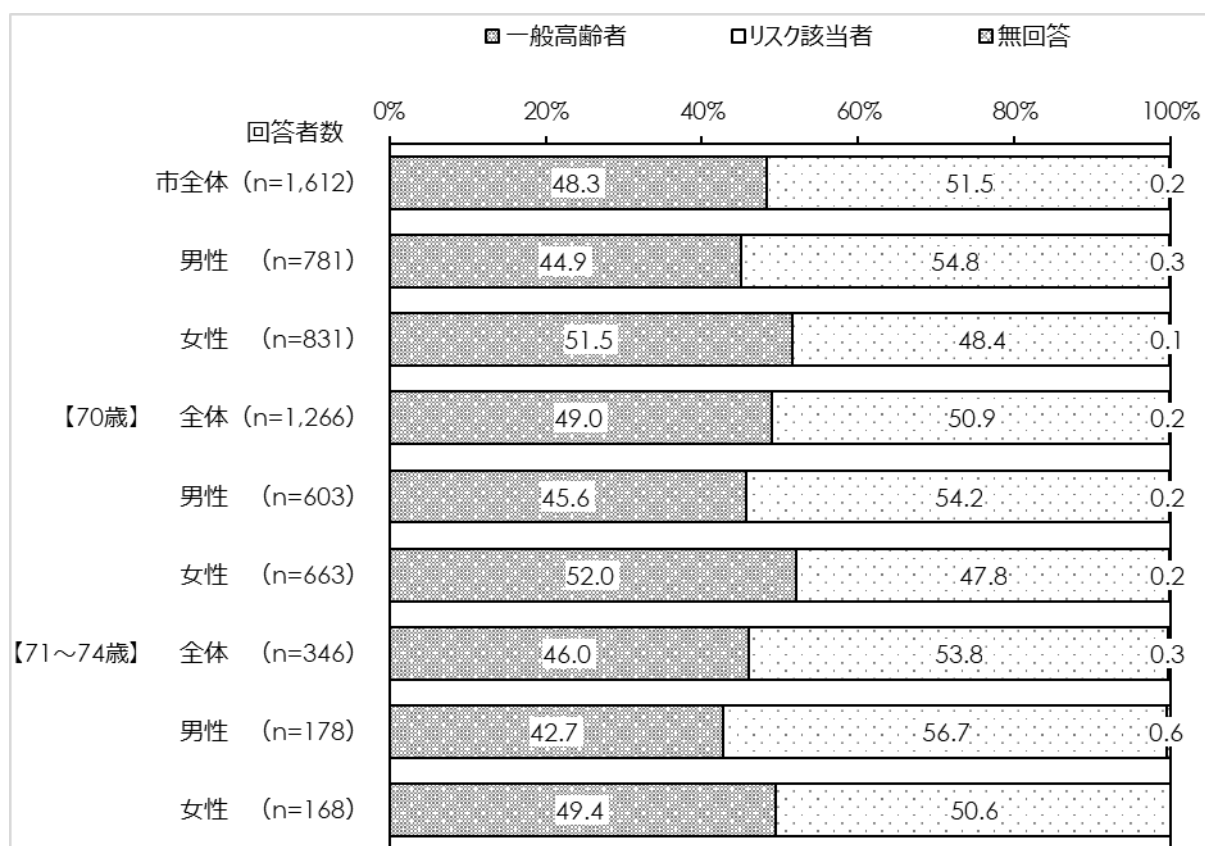
一般高齢者とリスク該当者の比率（年齢階級別・日常生活圏域別）



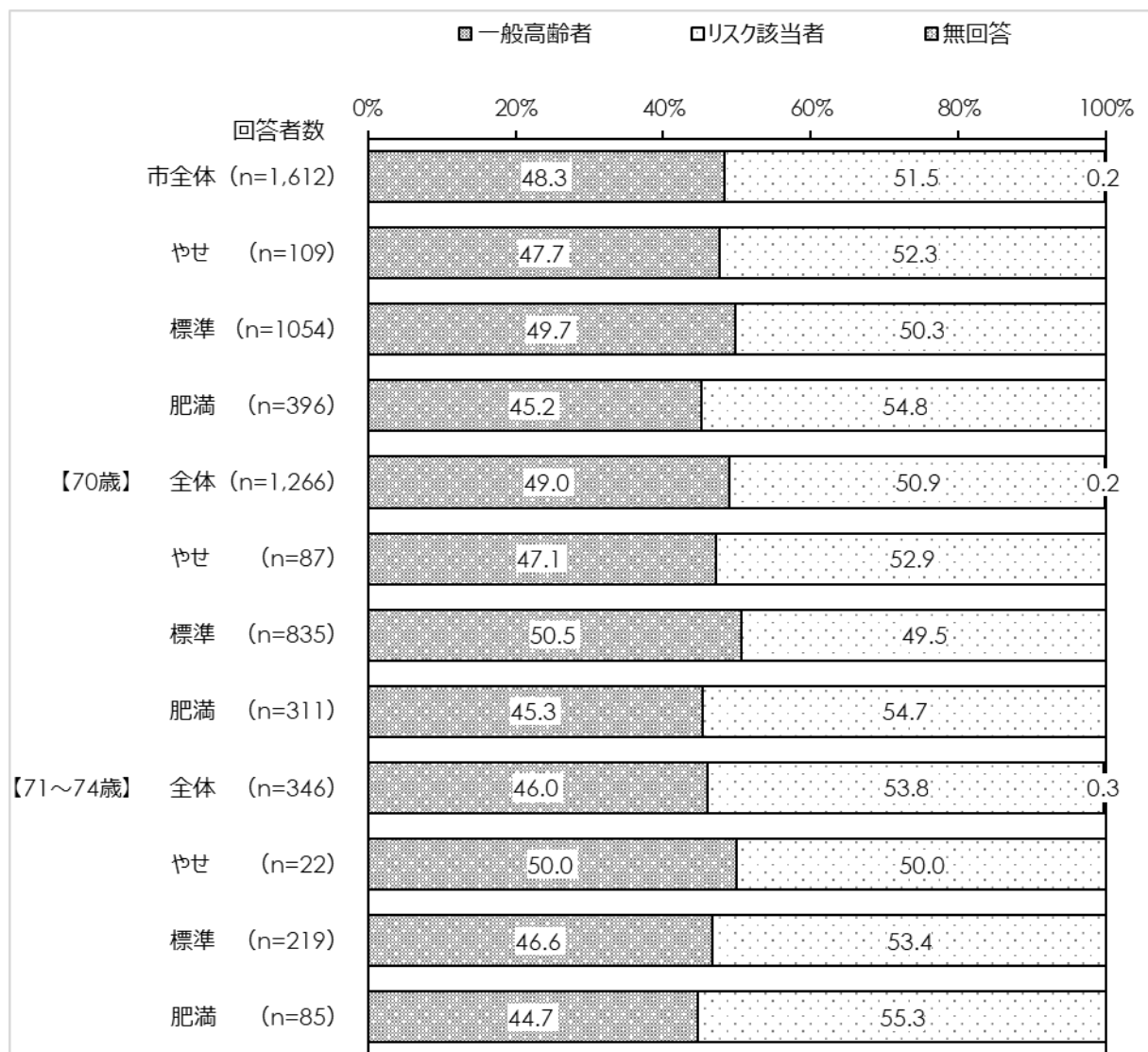
リスク該当者の比率を性別にみると、男性が 54.8%、女性が 48.4%となり、男性が女性より高くなっています。

さらにBMI別にみると、市全体、70歳、71～74歳いずれも「肥満」(54.8%・54.7%・55.3%)のリスク該当者比率が高くなっています。

一般高齢者とリスク該当者の比率（性別・年齢階級別）



一般高齢者とリスク該当者の比率（年齢階級別・BMI別）



(2) リスク該当者と7種類リスクの出現率

リスク別出現率をみると、市全体では、「物忘れリスク」が 36.3%と最も高く、次いで「こころリスク」が 17.9%、「口腔リスク」が 15.9%となっています。

リスク別出現率を性別・年齢階級別にみると、70 歳は、「物忘れリスク」の男性が 39.0%、女性が 32.3%と男性が 6.7 ポイント高くなり、71～74 歳では、「物忘れリスク」の男性が 42.1%、女性が 36.3%と男性が 5.8 ポイント高くなっています。

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（性別・年齢階級別）

単位：％

区分	回答者数 (件)	リスク 該当者	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
市全体	1,612	51.5	1.4	3.1	1.1	15.9	4.0	36.3	17.9
男性	781	54.8	1.9	3.6	0.8	17.5	4.9	39.7	20.6
女性	831	48.4	0.8	2.6	1.4	14.3	3.2	33.1	15.4
【70 歳】 全体	1,266	50.9	1.1	2.8	1.1	15.6	3.9	35.5	17.1
男性	603	54.2	1.5	3.2	0.7	16.9	4.5	39.0	20.2
女性	663	47.8	0.8	2.6	1.5	14.3	3.3	32.3	14.3
【71～74 歳】 全体	346	53.8	2.3	4.0	1.2	17.1	4.6	39.3	20.8
男性	178	56.7	3.4	5.1	1.1	19.7	6.2	42.1	21.9
女性	168	50.6	1.2	3.0	1.2	14.3	3.0	36.3	19.6

リスク該当者の出現率を家族構成別にみると、市全体では、ひとり暮らし世帯の出現率が55.4%となり、他の家族構成と比べて高くなっています。

リスク別出現率を性別・家族構成別にみると、男性では、ひとり暮らし世帯が「暮らしリスク」、「栄養リスク」「物忘れリスク」を除き、各リスクで他の家族構成よりやや高くなっています。女性では、ひとり暮らし世帯が「口腔リスク」、「外出リスク」、「物忘れリスク」で他の家族構成よりやや高くなっています。

性別・年齢階級別・家族構成別にみると、70歳男性では、ひとり暮らし世帯の「こころリスク」(35.2%)が、他の世帯と比べて高くなっていて、70歳女性では、大きな差はありません。

また、71～74歳男性では、ひとり暮らし世帯の「口腔リスク」(27.6%)と「こころリスク」(31.0%)、その他の世帯の「外出リスク」(8.0%)と「物忘れリスク」(50.0%)が、71～74歳女性では、ひとり暮らし世帯の「外出リスク」(10.7%)、高齢者のみ世帯の「口腔リスク」(17.9%)が、他の世帯に比べて高くなっています。

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（性別・家族構成別）

単位：％

区分	回答者数 (件)	リスク 該当者	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
【市全体】 ひとり暮らし世帯	271	55.4	0.4	4.1	0.7	18.1	5.2	35.8	24.7
高齢者のみ世帯	796	50.5	1.4	2.5	1.5	15.8	3.8	35.4	16.6
その他世帯	517	50.7	1.9	3.5	0.8	14.3	3.7	37.7	16.1
【男性】 ひとり暮らし世帯	134	61.2	0.7	5.2	0.7	21.6	6.0	35.1	34.3
高齢者のみ世帯	405	53.6	2.0	3.0	0.5	17.3	4.4	39.5	19.0
その他世帯	228	53.1	2.6	3.5	1.3	15.4	4.8	43.0	14.5
【女性】 ひとり暮らし世帯	137	49.6	0.0	2.9	0.7	14.6	4.4	36.5	15.3
高齢者のみ世帯	391	47.3	0.8	2.0	2.6	14.3	3.1	31.2	14.1
その他世帯	289	48.8	1.4	3.5	0.3	13.5	2.8	33.6	17.3

※「高齢者のみ世帯」は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」＋「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」

「その他世帯」は「息子・娘との2世帯」＋「その他」

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（性別・年齢階級別・家族構成別）

単位：％

区分	回答者数 (件)	リスク該当者	暮らしリスク	運動リスク	栄養リスク	口腔リスク	外出リスク	物忘れリスク	こころリスク
【70歳：男性】 ひとり暮らし世帯	105	61.9	1.0	5.7	1.0	20.0	7.6	36.2	35.2
高齢者のみ世帯	308	52.9	1.0	1.9	0.0	16.9	3.9	39.0	18.5
その他世帯	178	51.7	2.8	3.4	1.7	15.2	3.9	41.0	13.5
【70歳：女性】 ひとり暮らし世帯	109	48.6	0.0	2.8	0.9	15.6	2.8	33.9	14.7
高齢者のみ世帯	313	47.3	0.3	1.6	2.6	13.4	3.5	31.9	12.8
その他世帯	234	47.9	1.7	3.8	0.4	14.5	3.0	31.6	16.2
【71～74歳：男性】 ひとり暮らし世帯	29	58.6	0.0	3.4	0.0	27.6	0.0	31.0	31.0
高齢者のみ世帯	97	55.7	5.2	6.2	2.1	18.6	6.2	41.2	20.6
その他世帯	50	58.0	2.0	4.0	0.0	16.0	8.0	50.0	18.0
【71～74歳：女性】 ひとり暮らし世帯	28	53.6	0.0	3.6	0.0	10.7	10.7	46.4	17.9
高齢者のみ世帯	78	47.4	2.6	3.8	2.6	17.9	1.3	28.2	19.2
その他世帯	55	52.7	0.0	1.8	0.0	9.1	1.8	41.8	21.8

リスク別出現率をBMI別にみると、市全体では、やせの方の「栄養リスク」(16.5%)が他の体格の方と比べて特に高くなっています。

さらに年齢階級別にみると、70歳では肥満の「物忘れリスク」(37.0%)、71～74歳では標準の方の「物忘れリスク」(41.1%)の出現率が最も高くなっています。

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（年齢階級別・BMI別）

単位：％

区分	回答者数 (件)	リスク 該当者	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
【市全体】 やせ	109	52.3	5.5	5.5	16.5	10.1	2.8	29.4	19.3
標準	1,054	50.3	0.7	1.7	0.0	16.0	3.5	36.7	17.2
肥満	396	54.8	1.5	5.8	0.0	18.2	5.3	36.1	18.9
【70歳】 やせ	87	52.9	4.6	4.6	16.1	9.2	2.3	28.7	19.5
標準	835	49.5	0.6	1.9	0.0	16.2	3.1	35.6	16.8
肥満	311	54.7	1.3	4.8	0.0	17.4	6.1	37.0	17.0
【71～74歳】 やせ	22	50.0	9.1	9.1	18.2	13.6	4.5	31.8	18.2
標準	219	53.4	0.9	0.9	0.0	15.5	5.0	41.1	18.7
肥満	85	55.3	2.4	9.4	0.0	21.2	2.4	32.9	25.9

リスク該当者の出現率を居住形態別にみると、市全体では、集合住宅が 55.7%、一戸建てが 50.4%となり、集合住宅が 5.3 ポイント高くなっています。

リスク別出現率を居住形態別にみると、全てのリスクで集合住宅が一戸建てより高くなっています。

さらに年齢階級別にみると、70 歳では一戸建ての「物忘れリスク」(35.8%)、71～74 歳では集合住宅の「物忘れリスク」(47.2%) が最も高くなっています。また、71～74 歳の「口腔リスク」は一戸建てが 13.8%、集合住宅が 30.6%と差が最も大きくなっています。

リスク該当者、7 種類のリスク別出現率（年齢階級別・居住形態別）

単位：%

区分	回答者数 (件)	リスク 該当者	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
【市全体】 一戸建て	1,263	50.4	1.1	2.8	1.2	14.7	3.5	36.1	16.2
集合住宅	309	55.7	2.3	4.2	1.0	21.7	6.1	36.2	23.9
【70 歳】 一戸建て	1,003	50.2	0.9	2.7	1.1	15.0	3.3	35.8	15.6
集合住宅	237	52.7	2.1	3.4	1.3	19.0	6.3	32.9	22.8
【71～74 歳】 一戸建て	260	51.2	1.9	3.1	1.5	13.8	4.2	37.3	18.8
集合住宅	72	65.3	2.8	6.9	0.0	30.6	5.6	47.2	27.8

リスク該当者の出現率を日常生活圏域別にみると、第5圏域が60.8%と高くなっています。

リスク該当者、7種類のリスク別出現率（日常生活圏域別）

単位：％

区分	回答者数 (件)	リスク該当者	暮らしリスク	運動リスク	栄養リスク	口腔リスク	外出リスク	物忘れリスク	こころリスク
市全体	1,612	51.5	1.4	3.1	1.1	15.9	4.0	36.3	17.9
第1圏域	131	50.4	1.5	3.1	0.8	11.5	3.8	40.5	18.3
第2圏域	136	53.7	0.0	2.9	0.0	18.4	2.2	35.3	16.2
第3圏域	110	49.1	0.9	2.7	2.7	12.7	5.5	35.5	19.1
第4圏域	154	50.0	1.3	1.9	0.0	18.8	5.2	35.1	14.9
第5圏域	79	60.8	2.5	3.8	1.3	12.7	3.8	44.3	22.8
第6圏域	110	46.4	0.9	2.7	2.7	10.9	5.5	33.6	13.6
第7圏域	109	52.3	0.9	6.4	0.9	20.2	3.7	32.1	22.0
第8圏域	188	52.7	2.7	4.3	2.1	14.9	3.7	36.7	17.6
第9圏域	131	48.9	1.5	3.1	0.0	19.1	3.8	34.4	20.6
第10圏域	180	46.7	1.1	2.8	0.0	15.0	4.4	34.4	15.6
第11圏域	159	54.1	1.9	2.5	1.3	18.2	3.8	35.2	18.9
第12圏域	125	56.8	0.8	1.6	2.4	16.0	3.2	41.6	19.2

5 調査結果の総括

(1) 調査結果の総括の視点

健康な状態から要支援・要介護状態となるまでの過程で「フレイル」状態（加齢により体力や気力が弱まっている状態）となり、要支援・要介護状態へと悪化していくとされています。フレイルの一つ目は、運動器の障害で身体機能が低下したり、筋肉が衰えることによる「身体的フレイル」、二つ目は、定年退職やパートナーを失ったりすることによるうつ状態や軽度の認知症の状態による「精神・心理的フレイル」、三つ目は、加齢に伴って社会とのつながりが希薄化することで生じる独居や経済的困窮による「社会的フレイル」の3つのフレイルが連鎖することで自立度の低下が急速に進むとされています。

また、フレイルには「可逆性」という特性もあり、自身の状態と向き合い、予防に取り組むことで進行を緩やかにし、健康に過ごせていた状態に戻すことが可能です。

フレイル予防で掲げている柱は3つあり、「栄養」「身体活動（運動）」「社会参加」の三位一体の取り組みによるフレイル予防が必要とされています。

調査結果の総括では、「栄養」「身体活動（運動）」「社会参加」のフレイル予防に影響が及ぶ調査項目を中心に総括をしていきます。

また、市内の12か所の日常生活圏域ごとに設置している地域包括支援センターと圏域別に市民の身体機能の状況を情報共有し、地域に密着した事業展開による介護予防事業へとつなげるための基礎データとして活用することから、圏域別の特徴などを明らかにしていくものです。

(2) リスク該当者の総括

リスク該当者の状況を年齢階級別でみると、市全体で70歳が50.9%、71歳から74歳が53.8%と2.9ポイント高くなっており、70歳を超えて74歳までの期間で加齢に伴いリスク該当者が増加しています。

リスク種類別を年齢階級別にみると、「物忘れリスク」が71～74歳39.3%、70歳で35.5%とそれぞれ最も高く、次いで「こころリスク」が71～74歳で20.8%、70歳で17.1%、「口腔リスク」が71～74歳で17.1%、70歳で15.6%となっています。他は「外出リスク」「運動リスク」「暮らしリスク」「栄養リスク」の順となり、どれも1～5%程度とかなり低いですが、71～74歳が70歳よりほんのわずかに高くなっています。

物忘れリスクについては、本人の自覚や家族の認識など認知症に対する意識の問題により、認知症予防事業へとつながりづらい可能性もあることを踏まえ、取り組んでいく必要があります。

リスク該当者の状況を家族構成別でみると、市全体でひとり暮らし世帯が55.4%、その他世帯が50.7%、高齢者のみ世帯が50.5%と、ひとり暮らし世帯がやや高くなっています。

リスク種類別を家族構成別にみると、「物忘れリスク」はその他世帯で37.7%、ひとり暮らし世帯で35.8%、高齢者のみ世帯で35.4%とそれぞれ最も高く、次いで「こころリスク」がひとり暮らし世帯24.7%、高齢者のみ世帯で16.6%、その他世帯で16.1%、「口腔リスク」がひとり暮らし世帯18.1%、高齢者のみ世帯で15.8%、その他世帯で14.3%となっています。「外出リスク」「運動リスク」はひとり暮らし世帯が、「暮らしリスク」はその他世帯が、「栄養リスク」は高齢者のみ世帯が、他よりはわずかに高いですが、どれも5%程度より低くなっています。

リスク該当者の状況をBMI別でみると、市全体で肥満が54.8%、やせが52.3%、標準が50.3%と、肥満がやや高くなっています。

リスク種類別をBMI別にみると、「物忘れリスク」は標準で36.7%、肥満で36.1%、やせで29.4%とそれぞれ最も高く、次いで「こころリスク」がやせで19.3%、肥満で18.9%、標準で17.2%となっています。「口腔リスク」は肥満で18.2%、標準で16.0%に対してやせは10.1%と低くなっていますが、「栄養リスク」ではやせが16.5%と高くなっています。「外出リスク」は肥満、標準、やせの順ですが、3～5%程度と低くなっています。「運動リスク」は、肥満とやせが6%程度と低く、標準は2%未満とかなり低くなっています。「暮らしリスク」は、やせが5.5%と低いですが、肥満と標準は2%未満とかなり低くなっています。

リスク該当者の状況を圏域別でみると、市全体で第5圏域が60.8%と最も高く、第12圏域・第11圏域・第2圏域・第8圏域・第7圏域・第1圏域・第4圏域の順で50～57%の間、第3圏域、第9圏域、第10圏域、第6圏域の順で46～49%の間となっています。

リスク種類別を圏域別でみると、「物忘れリスク」は第5圏域で44.3%と最も高いですが、他の圏域も32%以上で高くなっています。次いで「こころリスク」は第5圏域で22.8%と最も高いですが、他の圏域も13%以上でやや高くなっています。「口腔リスク」は第7圏域で20.2%と最も高いですが、他の圏域も11%以上でやや高くなっています。「外出リスク」は2～6%程度、「運動リスク」は第7圏域が6.4%と高いですが、他の圏域は2～4%程度、「暮らしリスク」「栄養リスク」は3%未満とかなり低くなっています。

(3) フレイル予防における栄養リスクの総括

フレイル予防における3つの柱のうち、「栄養」については、まず、BMI別のリスク種類別の該当者の割合を見ると、市全体では、「肥満」のリスク該当者が54.8%と「やせ」に比べ2.5ポイント、「標準」に比べ4.5ポイント高くなっています。

また、市全体で「肥満」のリスク該当者は、「口腔リスク」が18.2%、「運動リスク」が5.8%と「標準」「やせ」に比べ割合が高くなっています。

(4) フレイル予防における身体活動（運動）の総括

フレイル予防のうち身体活動（運動）については、2－問5で「散歩で外出をする頻度はどれくらいですか」の設問に対して市全体で「週1回」「週1回未満」を合わせた割合が43.2%となっており、昨年に比べ外出の回数が減っている理由については、「新型コロナウイルス感染拡大」の割合が32.0%と最も高く、次いで「足腰などの痛み」30.1%、その他が28.2%となっています。

(5) フレイル予防における社会参加の総括

地域での活動について市全体で「年に数回以上参加」の割合が、自治会への参加が最も高く36.2%、次いでスポーツのサークルや団が21.8%、趣味のサークルや団体が21.3%、となっています。

6 基本チェックリスト（25 項目）の回答結果

基本チェックリスト 25 項目のうちでリスク側に回答した方の結果を、「暮らし」「運動」「栄養」「口腔」「外出」「物忘れ」「こころ」のリスク分類別にみています。

※設問文については、リスク側の表現に言い換えています。

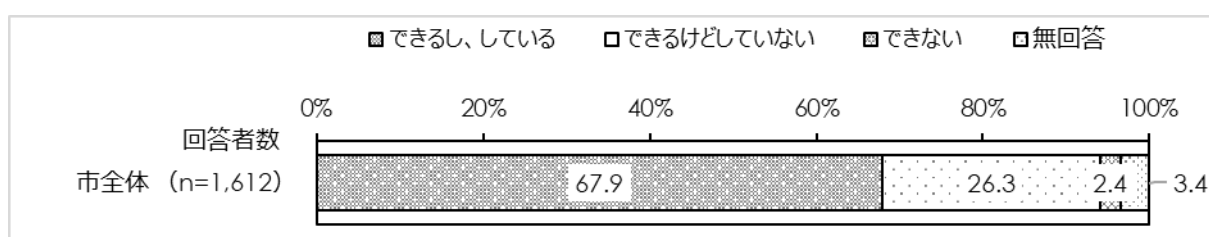
暮らしの回答結果

「暮らしリスク」は、下記5項目の回答結果と運動の回答結果（5項目）、栄養の回答結果（2項目）、口腔の回答結果（3項目）、外出の回答結果（2項目）、物忘れの回答結果（3項目）の20項目の回答結果から判定しています。

「暮らしリスク」に関する5項目のうち、「バスや電車で一人で外出できない」は、市全体で2.4%と低く、71～74歳男性の高齢者のみ世帯（9.3%）・その他世帯（8.0%）、71～74歳女性の高齢者のみ世帯（6.4%）が高くなっています。「日用品の買い物ができない」は、市全体で1.0%未満とかなり低く、71～74歳男性のその他世帯（4.0%）、71～74歳女性の高齢者のみ世帯（3.8%）がやや高くなっています。「預貯金の出し入れができない」は、市全体で1.2%と低く、71～74歳男性の高齢者のみ世帯（5.2%）・その他世帯（4.0%）、71～74歳女性の高齢者のみ世帯（3.8%）がやや高くなっています。「友人の家を訪ねていない」は市全体で56.0%と半数を超えて高く、最も高いのは70歳男性のその他世帯（71.9%）で、どの区分も35%以上あり、男性全体は女性全体より15ポイント程度高くなっています。「家族や友人の相談にのっていない」は市全体で21.0%とやや高く、最も高いのは70歳男性のひとり暮らし世帯（50.5%）で、男性全体は女性全体より15ポイント程度高くなっています。

暮らしの回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

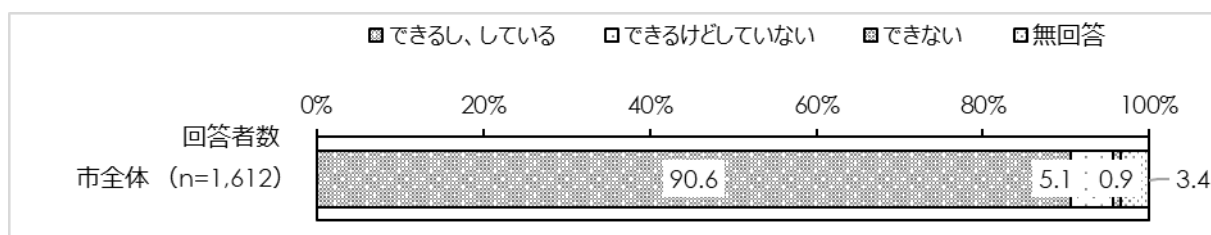
6－問1）バスや電車で一人で外出できない



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	2.4	2.8	2.2	3.2	2.6	2.0	0.0	2.3	2.8
【70歳】	1.7	1.5	2.9	1.3	1.1	1.8	0.0	1.3	3.4
【71～74歳】	5.2	7.3	0.0	9.3	8.0	3.0	0.0	6.4	0.0

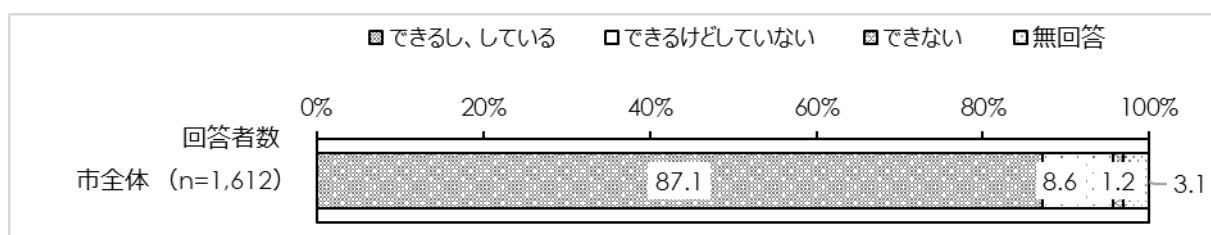
6－問2）日用品の買い物ができない



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	0.9	0.8	0.0	0.5	1.8	1.1	0.0	1.3	1.4
【70 歳】	0.6	0.3	0.0	0.0	1.1	0.9	0.0	0.6	1.7
【71～74 歳】	2.0	2.2	0.0	2.1	4.0	1.8	0.0	3.8	0.0

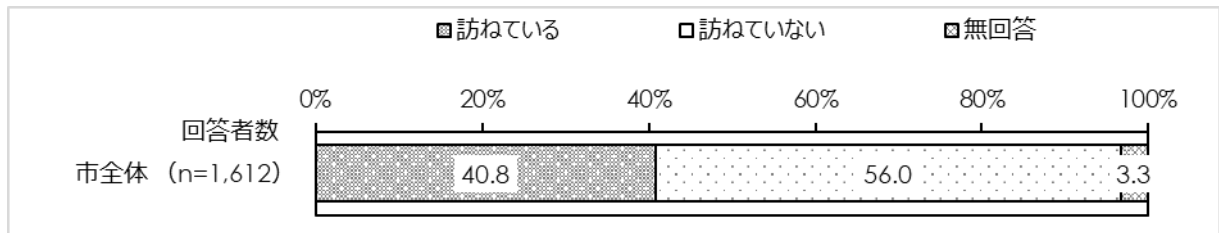
6－問5）預貯金の出し入れができない



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	1.2	2.0	0.7	2.0	2.6	0.5	0.0	0.8	0.3
【70 歳】	0.8	1.5	1.0	1.0	2.2	0.2	0.0	0.0	0.4
【71～74 歳】	2.9	3.9	0.0	5.2	4.0	1.8	0.0	3.8	0.0

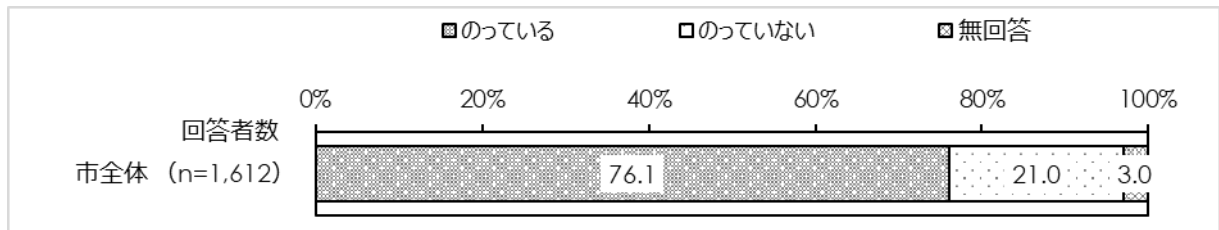
6－問 11) 友人の家を訪ねていない



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	56.0	63.5	61.9	60.5	69.7	48.9	49.6	46.3	52.6
【70 歳】	57.4	65.8	63.8	63.0	71.9	49.8	53.2	46.0	52.6
【71～74 歳】	50.6	55.6	55.2	52.6	62.0	45.2	35.7	47.4	52.7

6－問 12) 家族や友人の相談にのっていない



単位：％

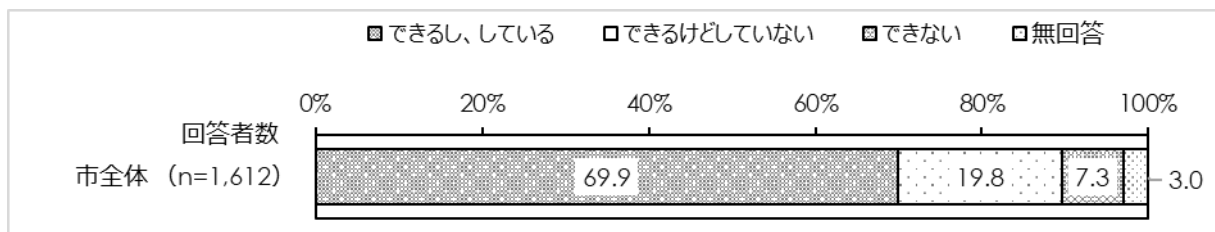
区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	21.0	28.8	47.0	23.7	28.5	13.6	20.4	11.5	13.5
【70 歳】	21.3	30.5	50.5	24.4	31.5	13.0	20.2	10.2	13.2
【71～74 歳】	19.7	23.0	34.5	21.6	18.0	16.1	21.4	16.7	14.5

運動の回答結果

「運動リスク」の5項目のうち、「階段昇降時に手すりや支えが必要」は、市全体で7.3%とやや低く、71～74歳男性のその他世帯(12.0%)、71～74歳女性のその他世帯(14.5%)がやや高くなっています。「椅子からの立ち上がりには支えが必要」は、市全体で4.1%と低く、71～74歳男性のその他世帯(12.0%)がやや高くなっています。「15分位続けて歩行していない」は、市全体で3.8%と低く、71～74歳男性の高齢者のみ世帯(8.2%)、71～74歳女性のひとり暮らし世帯(7.1%)がやや高くなっています。「この1年間に転んだことがある」は市全体で3.5%と低く、71～74歳男性のひとり暮らし世帯(13.8%)以外は2～7%程度と低くなっています。「転倒に対する不安が大きい」は市全体で6.6%とやや低く、70歳女性のひとり暮らし世帯(13.8%)、71～74歳女性の高齢者のみ世帯(10.3%)がやや高くなっています。

運動の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

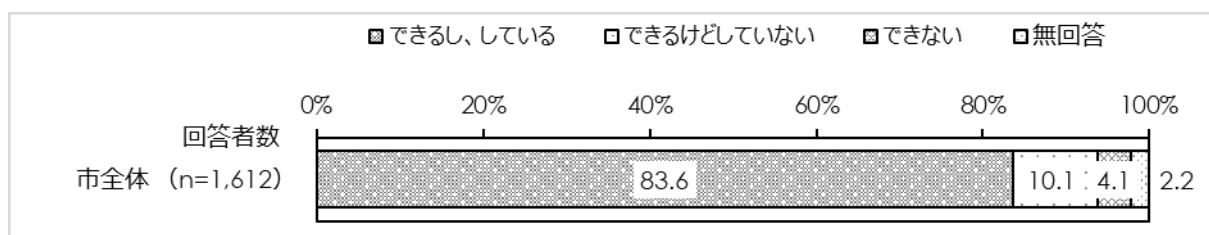
2－問1）階段昇降時に手すりや支えが必要



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	7.3	7.2	9.0	6.7	7.0	7.5	5.1	6.1	10.7
【70歳】	6.4	6.5	9.5	5.8	5.6	6.3	3.7	4.8	9.8
【71～74歳】	10.7	9.6	6.9	9.3	12.0	11.9	10.7	11.5	14.5

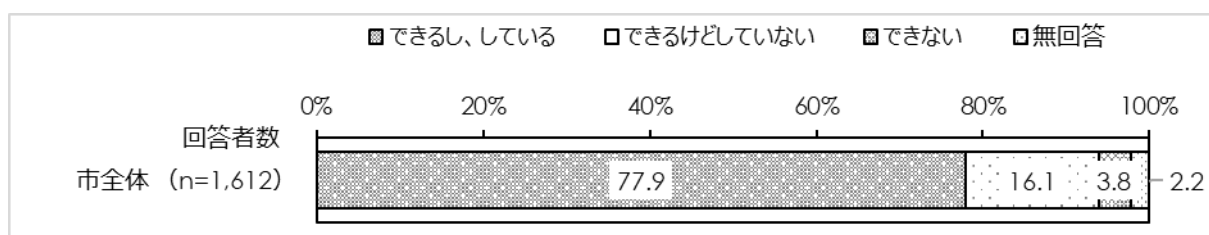
2－問2) 椅子からの立ち上がりには支えが必要



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	4.1	4.0	3.0	3.5	5.3	4.2	5.8	3.3	4.8
【70 歳】	3.6	3.0	3.8	2.3	3.4	4.2	5.5	2.9	5.6
【71～74 歳】	5.8	7.3	0.0	7.2	12.0	4.2	7.1	5.1	1.8

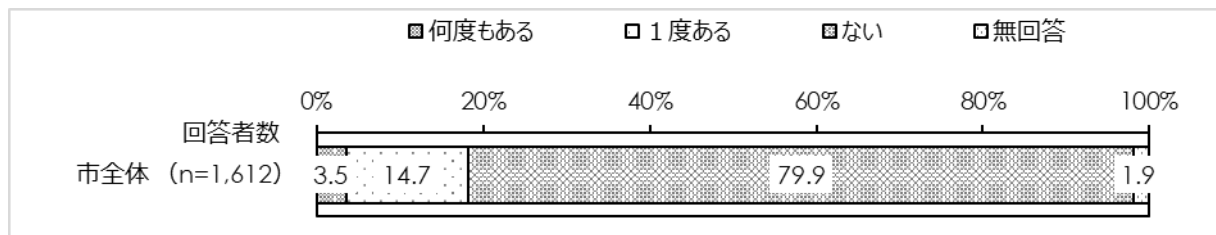
2－問3) 15 分位続けて歩行していない



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	3.8	4.0	4.5	3.5	4.8	3.6	3.6	2.0	5.9
【70 歳】	3.5	3.6	5.7	1.9	5.6	3.3	2.8	1.6	6.0
【71～74 歳】	4.9	5.1	0.0	8.2	2.0	4.8	7.1	3.8	5.5

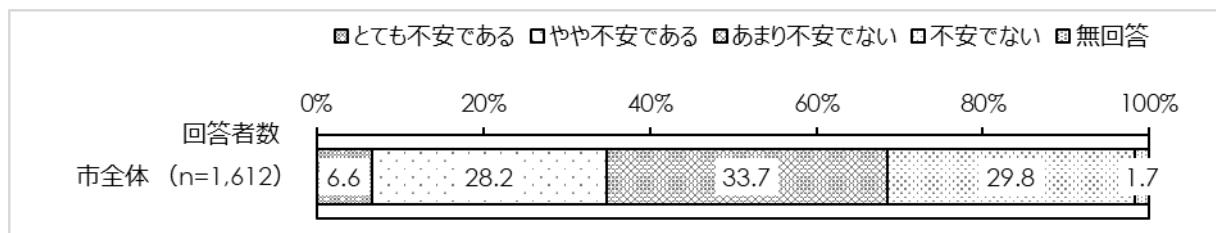
3－問1) この1年間に転んだことがある



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	3.5	4.1	4.5	3.5	4.8	3.0	5.1	2.8	2.4
【70 歳】	3.0	3.3	1.9	2.6	5.1	2.7	4.6	2.2	2.6
【71～74 歳】	5.5	6.7	13.8	6.2	4.0	4.2	7.1	5.1	1.8

3－問2) 転倒に対する不安が大きい



単位：％

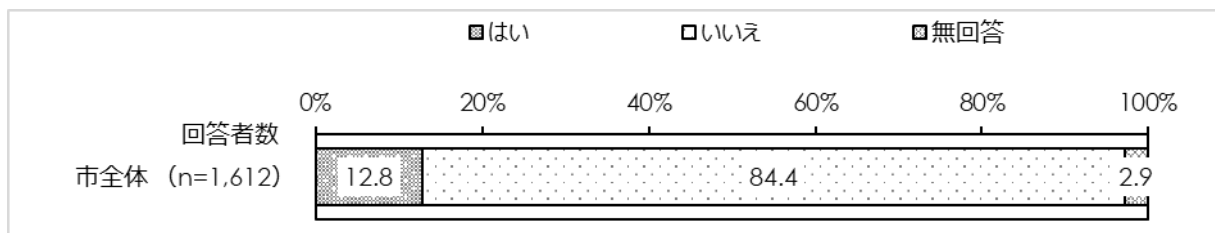
区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	6.6	5.9	6.7	6.7	4.4	7.3	10.9	7.4	5.9
【70 歳】	6.7	5.6	6.7	5.8	5.1	7.7	13.8	6.7	6.4
【71～74 歳】	6.4	6.7	6.9	9.3	2.0	6.0	0.0	10.3	3.6

栄養の回答結果

「栄養リスク」の2項目のうち、「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があった」は、市全体で12.8%とやや低く、71～74歳男性の高齢者のみ世帯（22.7%）、70歳男性のひとり暮らし世帯（21.9%）・その他世帯（21.9%）が他より10ポイント以上高くなっています。「やせている（BMI < 18.5）」は、市全体で6.8%と低く、女性は7～12%程度ですが、男性は71～74歳のひとり暮らし世帯（10.3%）以外は2～4%程度でかなり低くなっています。

栄養の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

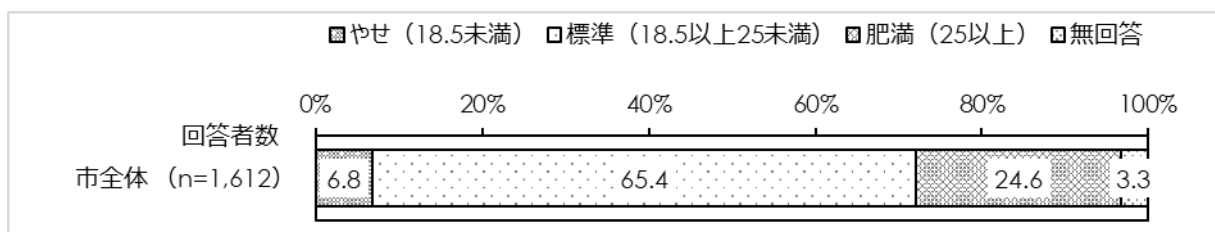
4－問1）6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があった



単位：%

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	12.8	16.6	18.7	14.1	19.7	9.1	8.0	11.3	7.3
【70歳】	13.1	16.6	21.9	11.4	21.9	10.0	7.3	12.5	8.1
【71～74歳】	11.6	16.9	6.9	22.7	12.0	6.0	10.7	6.4	3.6

4－問2）やせている（BMI < 18.5）



単位：%

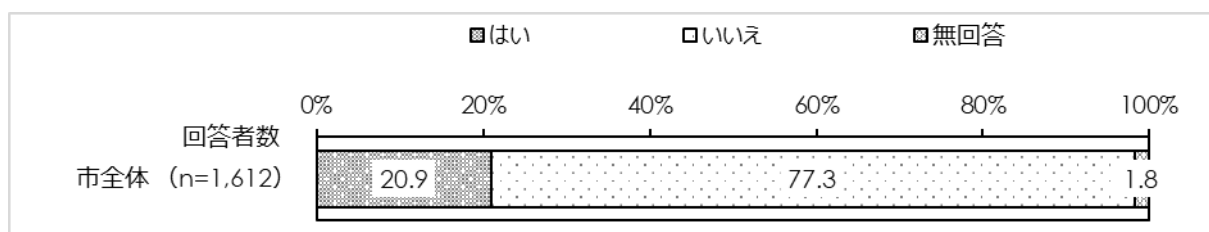
区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	6.8	3.5	4.5	3.5	3.1	9.9	9.5	11.0	8.7
【70歳】	6.9	3.3	2.9	3.6	3.4	10.1	10.1	10.9	9.0
【71～74歳】	6.4	3.9	10.3	3.1	2.0	8.9	7.1	11.5	7.3

口腔の回答結果

「口腔リスク」の3項目のうち、「半年前と比べて固いものが食べにくくなった」は、市全体で20.9%とやや高く、71～74歳男性のひとり暮らし世帯（34.5%）が特に高いですが、他は16～28%程度となっています。「お茶や汁物等でむせることがある」は、市全体で21.0%とやや高く、71～74歳男性の高齢者のみ世帯（28.9%）、71～74歳女性の高齢者のみ世帯（25.6%）がやや高くなっています。「口の渇きが気になる」は、市全体で20.3%とやや高く、70歳男性のひとり暮らし世帯（24.8%）、70歳女性のひとり暮らし世帯（23.9%）がやや高くなっています。

口腔の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

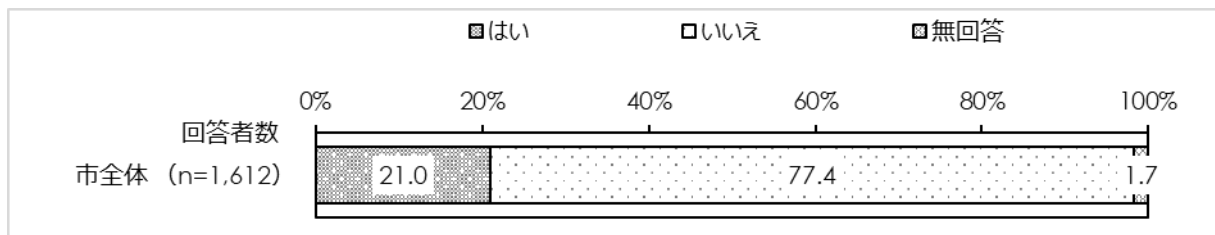
4－問3）半年前と比べて固いものが食べにくくなった



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	20.9	23.6	29.1	21.7	23.2	18.4	20.4	17.6	18.7
【70歳】	20.6	23.7	27.6	22.4	23.6	17.8	19.3	16.9	18.8
【71～74歳】	22.0	23.0	34.5	19.6	22.0	20.8	25.0	20.5	18.2

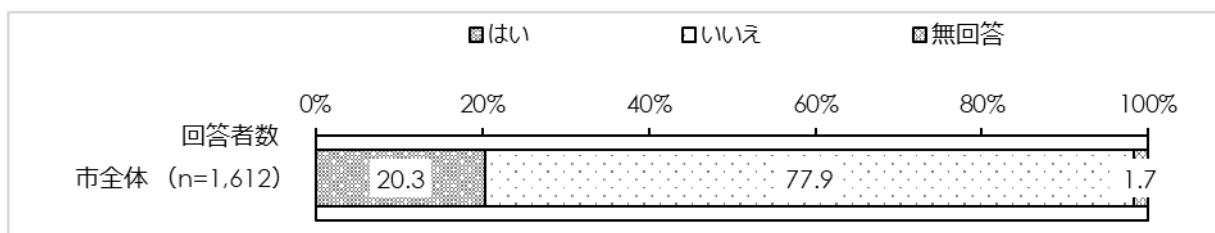
4－問4）お茶や汁物等でむせることがある



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	21.0	20.5	20.1	22.5	17.1	21.4	21.2	22.3	19.0
【70 歳】	20.3	19.2	21.0	20.5	16.3	21.3	21.1	21.4	20.1
【71～74 歳】	23.4	24.7	17.2	28.9	20.0	22.0	21.4	25.6	14.5

4－問5）口の渇きが気になる



単位：％

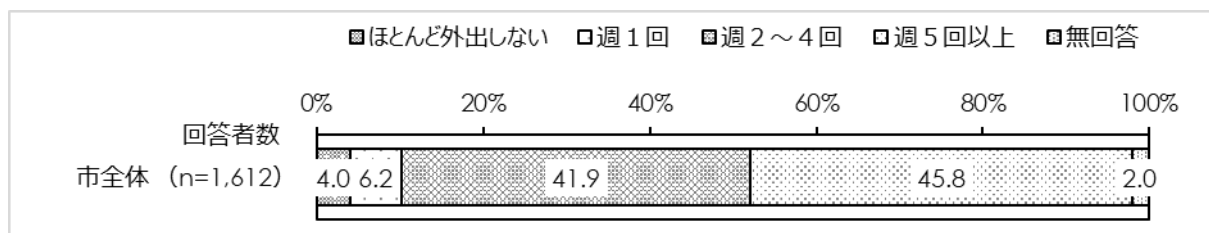
区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	20.3	21.1	23.9	20.7	20.2	19.6	23.4	17.1	20.4
【70 歳】	20.7	21.1	24.8	20.1	20.8	20.4	23.9	17.6	22.2
【71～74 歳】	19.1	21.3	20.7	22.7	18.0	16.7	21.4	15.4	12.7

外出の回答結果

「外出リスク」2項目のうち、「週に1回以上外出していない」は、市全体で4.0%と低く、71～74歳女性のひとり暮らし世帯(10.7%)がやや高くなっています。「昨年と比べて外出回数が減った」は、市全体で23.1%とやや高く、70歳男性ひとり暮らし世帯(27.6%)、71～74歳女性の高齢者のみ世帯(26.9%)が高いですが、他は20%台程度となっていて大きな差はありません。

外出の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

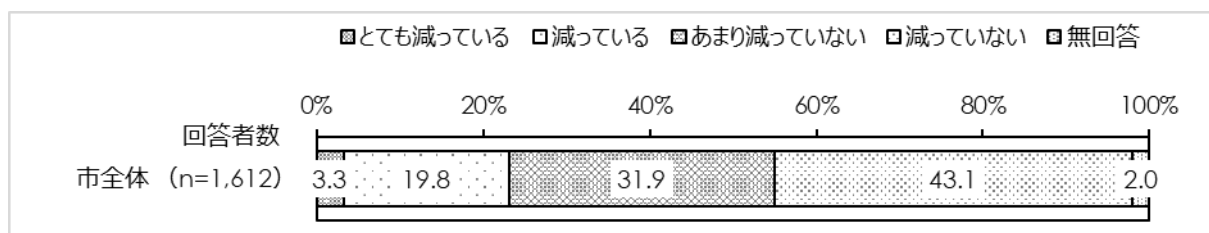
2-問4) 週に1回以上外出していない



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	4.0	4.9	6.0	4.4	4.8	3.2	4.4	3.1	2.8
【70歳】	3.9	4.5	7.6	3.9	3.9	3.3	2.8	3.5	3.0
【71～74歳】	4.6	6.2	0.0	6.2	8.0	3.0	10.7	1.3	1.8

2-問6) 昨年と比べて外出回数が減った



※下記表中の数値は「とても減っている」「減っている」の合計値

単位：％

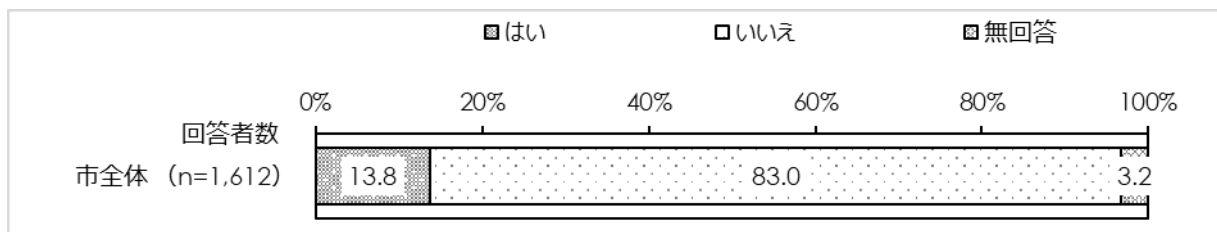
区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	23.1	22.3	26.1	22.0	21.1	23.8	21.2	24.8	23.9
【70歳】	23.2	22.7	27.6	22.7	20.8	23.7	21.1	24.3	23.9
【71～74歳】	22.5	20.8	20.7	19.6	22.0	24.4	21.4	26.9	23.6

物忘れの回答結果

「物忘れリスク」の3項目のうち、「いつも同じことを聞く」などの物忘れを指摘される」は、市全体で13.8%とやや低く、70歳男性のその他世帯(19.7%)・高齢者のみ世帯(18.5%) 71～74歳男性のその他世帯(18.0%)がやや高くなっています。「自分で電話番号を調べて電話をかけていない」は、市全体で16.1%とやや低く、71～74歳男性その他世帯(24.0%)、71～74歳女性のその他世帯(23.6%)がやや高い以外は14～20%程度となっていて大きな差はありません。「今日が何月何日かわからない時がある」は、市全体で15.8%とやや低く、女性は、71～74歳のひとり暮らし世帯(28.6%)が特に高い以外は17%未満ですが、男性は17～20%程度となっています。

物忘れの回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

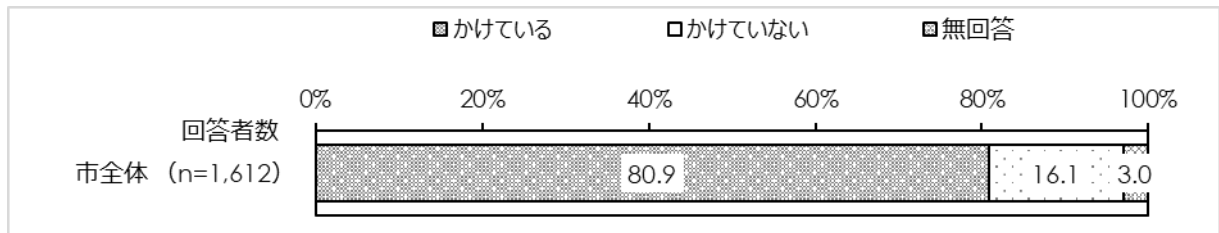
5－問1)「いつも同じことを聞く」などの物忘れを指摘される



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	13.8	17.5	11.2	18.0	19.3	10.2	6.6	10.0	12.1
【70歳】	13.5	18.1	12.4	18.5	19.7	9.4	4.6	9.3	11.1
【71～74歳】	14.7	15.7	6.9	16.5	18.0	13.7	14.3	12.8	16.4

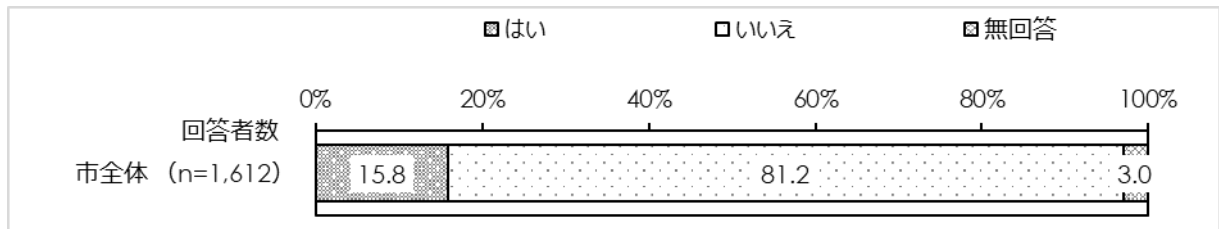
5－問2) 自分で電話番号を調べて電話をかけていない



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	16.1	16.1	15.7	15.8	18.0	16.1	19.7	15.1	16.3
【70 歳】	15.3	14.9	16.2	14.3	16.3	15.7	19.3	15.3	14.5
【71～74 歳】	19.1	20.2	13.8	20.6	24.0	17.9	21.4	14.1	23.6

5－問3) 今日が何月何日かわからない時がある



単位：％

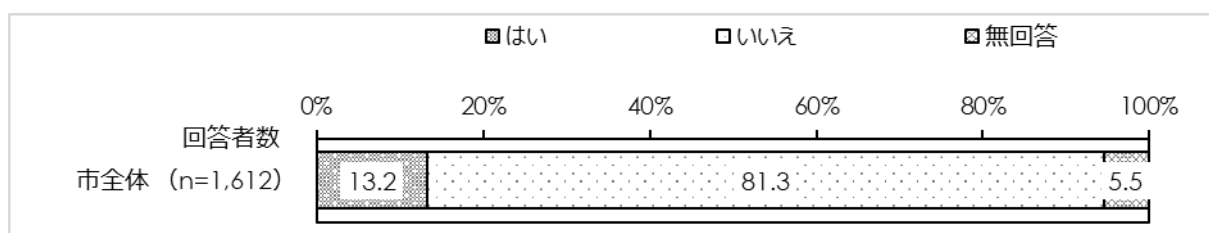
区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	15.8	17.8	17.2	17.5	19.3	14.0	19.0	13.0	12.5
【70 歳】	15.7	17.4	17.1	16.9	19.1	14.2	16.5	14.1	13.7
【71～74 歳】	16.2	19.1	17.2	19.6	20.0	13.1	28.6	9.0	7.3

こころの回答結果

「こころリスク」の5項目のうち、「毎日の生活に充実感がない」は、市全体で13.2%とやや低く、70歳男性のひとり暮らし世帯（24.8%）、71～74歳男性のその他世帯（20.0%）がやや高いですが、他も8～16%程度となっていて大きな差はありません。「楽しんでやれたことが楽しめなくなった」は、市全体で8.9%と低く、71～74歳男性のその他ひとり暮らし世帯（20.7%）、70歳男性のその他ひとり暮らし世帯（20.0%）がやや高いですが、他も4～13%程度となっていて大きな差はありません。「楽にできていたことが今ではおっくうに感じる」は、市全体で15.2%とやや低く、71～74歳男性ひとり暮らし世帯（24.1%）がやや高いですが、他も13～21%程度となっていて大きな差はありません。「自分が役に立つ人間だと思えないことがある」は、市全体で11.6%とやや低く、71～74歳男性のひとり暮らし世帯（31.0%）、70歳男性のひとり暮らし世帯（27.6%）が他より10ポイント以上高くなっています。「わけもなく疲れたような感じがする」は、市全体で18.9%とやや低く、70歳男性のひとり暮らし世帯（26.7%）がやや高いですが、他も16～22%程度となっていて大きな差はありません。

こころの回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

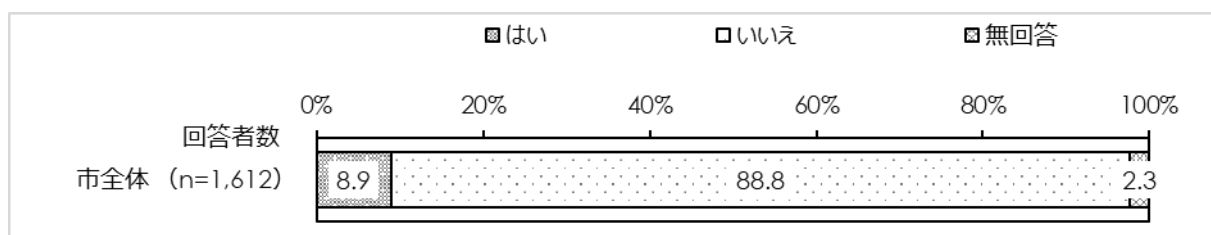
8－問3）毎日の生活に充実感がない



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	13.2	14.5	21.6	12.1	14.0	12.0	8.8	13.0	12.5
【70歳】	13.0	13.9	24.8	11.0	12.4	12.1	8.3	12.5	13.2
【71～74歳】	14.2	16.3	10.3	15.5	20.0	11.9	10.7	15.4	9.1

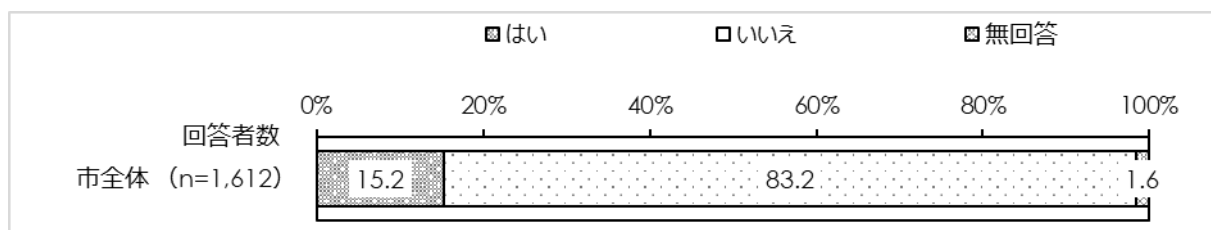
8－問4) 楽しんでやれたことが楽しめなくなった



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	8.9	11.5	20.1	10.6	7.5	6.4	5.8	5.6	7.3
【70 歳】	8.1	10.8	20.0	10.1	6.2	5.6	5.5	4.2	7.3
【71～74 歳】	11.8	14.0	20.7	12.4	12.0	9.5	7.1	11.5	7.3

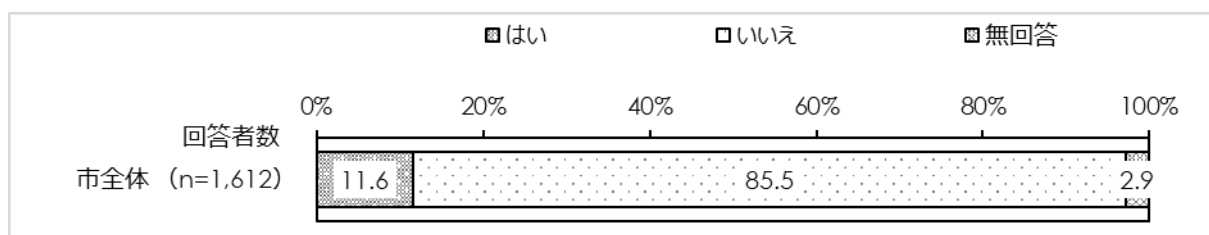
8－問5) 楽にできていたことが今ではおっくうに感じる



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	15.2	15.6	20.9	15.3	12.7	14.8	15.3	13.6	16.3
【70 歳】	14.2	14.8	20.0	14.3	12.4	13.7	13.8	12.8	15.4
【71～74 歳】	18.8	18.5	24.1	18.6	14.0	19.0	21.4	16.7	20.0

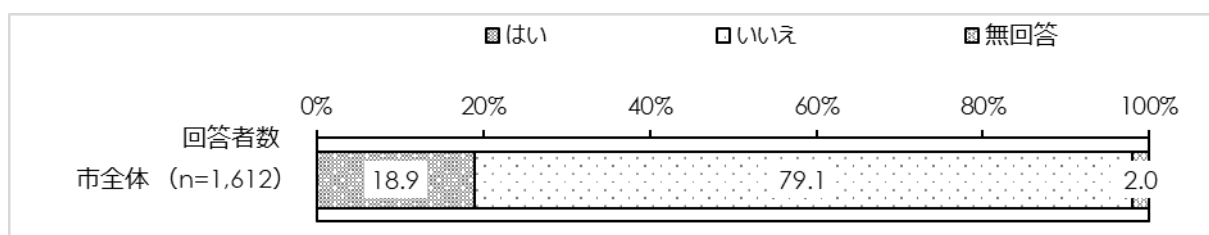
8－問6) 自分が役に立つ人間だと思えないことがある



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	11.6	14.7	28.4	12.1	11.8	8.7	13.1	8.4	6.6
【70 歳】	11.1	15.4	27.6	13.0	13.5	7.2	11.9	6.4	6.0
【71～74 歳】	13.3	12.4	31.0	9.3	6.0	14.3	17.9	16.7	9.1

8－問7) わけもなく疲れたような感じがする



単位：％

区分	全体	【男性】				【女性】			
		全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他	全体	ひとり暮らし	高齢者のみ	その他
【市全体】	18.9	19.3	24.6	18.3	17.5	18.5	21.2	16.6	20.1
【70 歳】	18.9	19.4	26.7	17.9	17.4	18.4	21.1	16.0	20.5
【71～74 歳】	19.1	19.1	17.2	19.6	18.0	19.0	21.4	19.2	18.2

他リスクとの重複割合（70 歳）

単位：上段/人 下段/%

項目	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
暮らしリスク	14 100.0	9 25.0	3 21.4	9 4.6	3 6.1	14 3.1	10 4.6
運動リスク	9 64.3	36 100.0	2 14.3	10 5.1	8 16.3	19 4.2	20 9.2
栄養リスク	3 21.4	2 5.6	14 100.0	1 0.5	0 0.0	5 1.1	6 2.8
口腔リスク	9 64.3	10 27.8	1 7.1	197 100.0	9 18.4	105 23.4	79 36.4
外出リスク	3 21.4	8 22.2	0 0.0	9 4.6	49 100.0	27 6.0	21 9.7
物忘れリスク	14 100.0	19 52.8	5 35.7	105 53.3	27 55.1	449 100.0	115 53.0
こころリスク	10 71.4	20 55.6	6 42.9	79 40.1	21 42.9	115 25.6	217 100.0

他リスクとの重複割合（71～74 歳）

単位：上段/人 下段/%

項目	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
暮らしリスク	8 100.0	7 50.0	2 50.0	6 10.2	5 31.3	8 5.9	5 6.9
運動リスク	7 87.5	14 100.0	2 50.0	7 11.9	6 37.5	9 6.6	10 13.9
栄養リスク	2 25.0	2 14.3	4 100.0	1 1.7	1 6.3	3 2.2	1 1.4
口腔リスク	6 75.0	7 50.0	1 25.0	59 100.0	6 37.5	38 27.9	22 30.6
外出リスク	5 62.5	6 42.9	1 25.0	6 10.2	16 100.0	10 7.4	9 12.5
物忘れリスク	8 100.0	9 64.3	3 75.0	38 64.4	10 62.5	136 100.0	41 56.9
こころリスク	5 62.5	10 71.4	1 25.0	22 37.3	9 56.3	41 30.1	72 100.0